

## 第3学年国語科学習指導案

児童 3年1組 男子19名 女子12名 計31名  
指導者 高橋 智也

- 1 単元名 大事なことをたしかめよう  
教材名 「すがたをかえる大豆」(説明文)  
「食べ物がかせになろう」

### 2 児童と単元について

#### (1) 児童について

この学級の児童は、1学期の説明文教材「ありの行列」の学習において、中心文をもとにして段落の要点をまとめる学習をしている。読みの方法としては、問いの文と答えの文を見つける、題名や問いの文に関係のある重要語句を探しそれらをもとに中心文を見つける、等の活動を行ってきた。これらの学習を通して、中心文の存在に気づき、中心文を見つけられるようになってきている。また、「おもしろいもの、見つけた」の学習において、伝えたいことが読み手にきちんと伝わるように、事柄ごとに段落に分け、互いの順序を考えて書く学習をしている。取材カードにまとめたり、カードをもとに内容を膨らませたりする学習を通して段落や順序に気を付けて書けるようになってきている。

3年生になって初めての説明文である「ありの行列」を学習した後の7月に実施された国語科意識調査では、「あなたは国語の学習が好きですか」「あなたは進んで国語の授業に参加していますか」の質問にほとんどの児童が肯定的に答えている。このことから国語の学習に対して意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。

本単元の指導にあたり、事前に説明文の読み取りの実態を調査した。説明文を一読後、ほとんどの児童が形式段落に正しく番号を付けることができたが、内容を「はじめ・中・おわり」に分けることが不十分だったり、中心文を正しく抜き出すことができなったりする児童も多く見られた。中心文を抜き出す上で具体例の部分を抜き出す誤答が多く見られ、また一文を正しく抜き出すことができない児童も多く見られたので、重要語句を押さえ、題名や段落の関係から中心文を丁寧に確認することが必要である。また、書く活動においては、友だちに知らせる上で必要なことや落としてはいけないことを書き落したり、不必要なことまで入れて長々と書いたりする児童も見られる。文章を書く上で読み手を意識させることが必要である。

#### (2) 単元と教材について

本単元「大事なことをたしかめよう」は段落や重要語句などに注意しながら要点を読み取り、教材文の内容を参考にして自分で調べたいものを選んでそれに関する情報を集めて文章にまとめることをねらいとしている。

教材文「すがたをかえる大豆」は児童にとって身近な食べ物である大豆や、その加工食品について書かれた読み物であり、児童は興味をもちながら読み進めることができるであろう。特に大豆の加工食品については、見た目からは大豆からできていると思われないものが多く、児童にとっては意外性がある。また、本教材は解説型の説明文教材である。段落構成やキーワードも明確であり、子どもたちにとって要点をまとめる学習は取り組みやすく、また書く活動の際のよい参考例にもなる教材である。この説明文で、今まで学習した中心文を見つける力や、段落の要点をまとめる力を確かめながら書く活動につなげていく学習を行いたい。

## 【段落相互の関係をとらえ、全体構成を理解する力】

文章構成図にまとめる。

・小見出し ・接続語 ・答えの文 ・キーワード(重要語句)

文章の内容を正しく読み取るためには、文章の構成を考えさせ、それぞれ何についてどのようなことが書かれているかということを理解させなければならない。

本単元では「はじめ」「中」「おわり」の3つの構成になっているが、その構成を比較教材「ありの行列」の一覧教材文と対比させながら、小見出しを書き込める学習シートを用いて文章構成図にまとめ、内容を的確に理解できるようにしたい。その際、「次に」「さらに」などの順序を表す接続語から「中」の段落を見つけ、キーワード「くふう」をもとに確認したり、答えの文の接続語「このように」から「おわり」の段落を見つけたりするなどして文章の構成を明確にし、段落相互の関係や役割についても正しく理解させていきたい。

この活動は、本単元の広める活動「食べ物がかせになろう」の際、書きたい文章の内容に応じて事柄や構成を考える力を育てる上での基礎となるとともに、発展的に応用させていく意味でも必要不可欠であると考える。

段落の要点をまとめる。 細かい点に注意して読む。

・中心文 ・キーワード(重要語句) ・問いの文 ・クイズ作り

段落の内容を正確に読み取ることは、文章構成を考える上で重要な条件である。そこで、子どもたちが段落の要点をまとめたり、細かい点に注意して読んだりできるような手立てを考えた。

「はじめ」と「おわり」の段落では、文章に一文ずつ番号をふり、話し合いの能率を高めていく。その際、番号をふった一文同士のかかわり合いや、内容理解を具体化させる拡大挿絵などをもとに全体で中心文を確認した上で要点をまとめることができるようにしたい。

更に「はじめ」の段落は、話題提示の段落であることから、キーワード「いろいろ」から「問いの文」を子どもたちに作成させて、その段落の役割を読み取らせていきたい。

「中」の段落では、キーワード「くふう」を手がかりに中心文を探し出したあと、「大豆に手を加えるときの言葉」や「すがたをかえてできた食品」を整理しながら内容を読み取らせる。更に、読み取ったことをクイズという形で個々に解釈・再構成させることで、児童が読みのめあてをもち、細部に注意しながら読むことができる力がついてくると考える。

これらの活動は、「食べ物がかせになろう」の学習で、集めた情報を関連付けていくつかのまとまりを形成していく過程の際に、子どもたちの思考を整理させていく上で重要な支援や手がかりになっていくと考える。

## 3 単元の目標と評価規準

	単元の目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	食べ物について書かれた読み物や図鑑などを興味を持って読もうとする。  伝えたいことが明確になるように、段落相互の関係に注意して書こうとする。	・食べ物について書かれた読み物や図鑑などを興味をもって読もうとしている。 ・段落相互の関係に注意し、伝えたいことが明確になるように文章を書こうとしている。
書く能力	身近な食べ物について、情報を収集したり取捨選択したりしながら、段落に分けて文章にまとめることができる。 ＜書くことイエ＞	・調べて書く必要のある事柄を取捨選択し、書こうとすることの中心や段落と段落の続き方に注意しながら文章を書いている。

読む能力	<p>中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、大豆を食べる工夫を正しく読み取ることができる。</p> <p>内容を大きくまとめたり、必要ところは細かい点に注意したりしながら読み取ることができる。</p> <p style="text-align: center;">&lt;読むことイオ&gt;</p>	<p>・中心となる語や文を手がかりに段落相互の関係を考え、内容を的確に理解しながら文章を読み取っている。</p> <p>・内容を意味ごとにまとめりとして理解したり、読み落としてはならない細かい点に注意しながら考えたりして、文章を読み取っている。</p>
言語についての知識・理解・技能	<p>文章全体における段落の役割を理解することができる。</p> <p>意味のつながりを考えながら指示語や接続語を使うことができる。</p> <p style="text-align: center;">&lt;言語事項オ(イ)(ウ)&gt;</p>	<p>・文章全体における段落の役割を理解している。</p> <p>・文や段落相互の関係を示す手がかりとして、指示語や接続語を使って説明している。</p>

#### 4 単元の指導計画と評価規準(17時間)

段階	時	学習活動	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
見通す	1	全文を読み、大豆を使った食品を確かめ、簡単な感想を書く。	大豆を使った食品に興味をもち、進んで読もうとする。 (発言、観察、ノート)	初めて知ったこと、驚いたこと等感想を書いている。 (ノート)	
	2	新出漢字や語句の意味を確かめ、学習計画をつかむ。	学習計画から、学習の見通しをもととする。 (観察、ノート)		新出漢字や語句の意味について理解している。 (発言、ノート)
深める	3	全体を「はじめ」「中」「おわり」の3つに分ける。		接続語について理解し「はじめ」「中」「おわり」に分けている。 (発言、学習シート)	文章全体における段落の役割を理解している。 (発言、学習シート)
	4	「はじめ」の部分の内容を読み取り、要点をまとめる。		「はじめ」の部分の要点をまとめ、どんな話題を提示しているかを読み取っている。 (発言、ノート)	
	5 6	「中」の部分の内容を読み取り、大豆変身クイズを作る。	大豆変身クイズ作りに興味をもち、クイズを作ろうとする。 (観察、学習シート)	大豆をおいしく食べる工夫と食品を読み取り、大豆変身クイズを作っている。 (発言、学習シート)	
	7	「おわり」の部分の内容を読み取り、要点をまとめ、文章全体の感想を書く。	読み取ったことをもとに、まとめの感想を書こうとする。 (発言、ノート)	「おわり」の部分の要点をまとめ、大豆がいろいろなすがたで食べられるわけを読み取っている。 (発言、ノート)	

ま と め る	8	それぞれの段落の小見出しを考え、文章の構成を確認する。	小見出しについて、 進んで理解しようとする。 (観察、学習シート)	それぞれの段落の小見出しを考え、段落相互の関係を読み取っている。 (発言、学習シート)	文章全体における段落の役割を理解している。 (発言、学習シート)
広 め る	9	「食べ物がかせになるう」を読み、調べたことを文章にまとめるまでの流れをつかむ。新出漢字を確かめる。	本作りに興味をもち、本にまとめるまでの活動の手順を理解しようとする。 (観察、ノート)	書く能力	新出漢字について理解している。 (ノート)
	10	調べたい食べ物を決め、学習計画を立てる。	調べたい食べ物を、進んで決めようとする。 (観察、学習シート)	食べ物の何について調べたいかを書き出し、学習計画を立てている。(学習シート)	
	11 12	「本で調べる」をもとに本での調べ方を知る。図書資料の中から調べたい事柄を選び出し、カードに書く。	進んで調べ、カードにたくさん書き出そうとする。 (観察、カード)	調べたいことをカードに書き出している。 (カード)	
	13 14 15	カードを整理し、カードのまとめりごとに文章を書き、清書する。		カードを整理し、まとめりごとに文章を書き、文章の構成を推敲している。 (カード、原稿用紙)	句読点、誤字・脱字に気を付けている。 (原稿用紙)
	16 17	文章をまとめ、本を作る。お互いにできた本を読み合い、感想を書く。	できた本について、自己評価をしようとする。 (ノート)	表紙・前書き・目次等を書いている。できた本を読み合い、感想を書いている。 (本、付箋紙)	

## 5 本時の指導 (4/17)

### (1) 本時の目標

「はじめ」の部分から、段落ごとの要点をまとめ、筆者が大豆についてどんな話題を提示しているかを読み取ることができる。

### (2) 本時の評価の観点と具体的評価規準

具体的評価規準 観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する児童への手立て
読む能力	段落ごとの中心文をもとに「はじめ」の部分の段落ごとの要点を短くまとめ、問いの文を作っている。 例)要点 大豆は、いろいろな食品にすが	段落ごとの中心文をもとに、「はじめ」の部分の段落ごとの要点をつかみ、問いの文を作っている。 例)要点 大豆は、いろいろな食品にすが	主語を「大豆」として、中心文から大豆について書かれてある部分を見つけさせる。 「いろいろ」という言葉に着目させ、問いかけ

	<p>たをかえている。 大豆は、いろいろ手をくわえられている。 問いの文 大豆は、どんな食品にすがたをかえているのでしょうか。 大豆はどのように手を加えられているのでしょうか。</p>	<p>たをかえていることが多いので気づかれないのです。 そのため、いろいろ手をくわえて、おいしく食べるくふうをしています。 問いの文 大豆は、どんな食品にすがたをかえているのでしょうか。 大豆はどのように手を加えられているのでしょうか。</p>	<p>の文末「～でしょうか」をもとにまとめさせる。</p>
--	--	--	-------------------------------

(3) 展開

段階	学習活動 発問 ・ 期待する児童の反応	教師の関わり方 ・ 留意事項 評価
見通す  5分	<p>1 前時の学習を振り返る。</p> <p>2 学習課題を確認する。 大豆の「どんなこと」についてせつめいしようとしているのだろうか。</p> <p>3 読みの視点をもち、学習の見通しをもつ。 ・ 中心文</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文が「はじめ」「中」「おわり」の3つに分けられ、本時は「はじめ」( 段落 ) を学習することを確認する。</li> <li>「ありの行列」では問いの文があったことを想起させ、「はじめ」のまとめりではこれから説明することの話題を提示していることを確認する。</li> <li>「すがたをかえる大豆」には問いの文がないことを確認し、大豆について筆者がどんな話題を提示しているのかを問いの文を作ること考えていくことを確認する。</li> <li>筆者が大豆のどんなことを話題にしているかを考えるために、段落ごとの中心文を見つけ、それをもとに要点をまとめていくことを確認する。</li> </ul>
深める	<p>4 学習場面を音読する。</p> <p>5 内容を読み取る。 (1) 段落の中心文を見つけ、要点を読み取る。 段落の中心文は何番ですか。 ・ 6番 どうしてですか。 ・ 6は題名と関係がある「すがたをかえている」ということが書かれてあるから。 ・ 何にすがたをかえているかが書かれているから 大豆は何に姿を変えているのですか。 ・ いろいろな食品 中心文から 段落の要点を短くまとめましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一文番号を書き込みながら音読を聞かせる。(指名読み)</li> <li>自分の考えをもたせるために、各自で一文番号にまるをつけさせる。</li> <li>題名に関係のある「すがたをかえている」というキーワードがあり、6番がこの段落の中心文だということを押さえる。</li> <li>主語が「大豆は」であることを確認し、大豆について筆者が述べようとしていることを中心文を使って短くまとめさせる。</li> </ul>

35分	<p>(2) 段落の中心文を見つけ、要点を読み取る。 段落の中心文は何番ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6番 どうしてですか。</li> <li>・「いろいろ手をくわえて」ということは、大豆のすがたをかえるということだから。</li> <li>・どうやってすがたをかえるかが書かれてあるから。 大豆はどうやって姿を変えるのですか。</li> <li>・いろいろ手をくわえて 中心文から 段落の要点を短くまとめましょう。</li> </ul> <p>6 課題のまとめをする 段落から問いの文を作ります。どんな問いの文ができますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大豆はどんな食品にすがたをかえているのでしょうか。</li> </ul> <p>段落から問いの文を作ります。どんな問いの文ができますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大豆はどのように手を加えられているのでしょうか。</li> </ul>	<p>中心文から 段落の要点をまとめることができたか。(ノート、発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをもたせるために、各自で一文番号にまるをつけさせる。</li> <li>・前の段落との関わりから「いろいろ手を加えて」という言葉が「すがたをかえている」ということの言い換えであり、キーワードであるということを押さえる。</li> <li>・「そのため」は理由を表し、1つ前の文の理由を表していることを押さえる。</li> <li>・主語を「大豆」として考えさせ、大豆について筆者が述べたいことを中心文を使って短くまとめさせる。 中心文から 段落の要点をまとめることができたか。(ノート、発言)</li> <li>・「いろいろ」という言葉に着目させ、どんな食品にすがたをかえているのか、どんな手を加えているのかが分からないことを押さえる。</li> <li>・問いの文を作ることで、筆者が話題にしていることは大豆が「どんな食品に」姿を変えるのかということと、「どのように手をくわえられているのか」ということの2点であることをつかませる。 中心文をもとに、 段落から問いの文を作ることができたか。(ノート)</li> </ul>
まとめ 5分	<p>6 今日の学習について振り返る。</p> <p>7 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りカードに授業の振り返りを書く。</li> <li>・いろいろ手を加えるのは大豆をおいしく食べるための工夫であることを確認し、次時から工夫を読み取り、大豆変身クイズを作ることを確認する。</li> <li>・次時の学習課題を書かせることで、次の時間の学習への意欲をもたせる。</li> </ul>

(4) 板書計画

すがたをかえる大豆

国分牧衛

かだい

大豆の「どんなこと」についてせつめいしようとしているのだろうか。

・ 中心文

わたしたちの毎日の食事には、肉・やさいなど、さまざまざいりょうが調理されて出てきます。その中で、ごはんになる米、パンやめん類になる麦のほかにも、多くの人がほとんど毎日口しているものがあります。なんだか分かりますか。それは、大豆です。大豆がそれほど食べられていることは、意外と知られていません。大豆は、いろいろな食品にすがたをかえていることが多いので気づかれないのです。

大豆は、ダイズという植物のたねです。えだについたさやの中に、二つか三つのたねが入っています。ダイズが十分に育つと、さやの中のたねはかたくなります。これが、わたしたちが知っている大豆です。かたい大豆は、そのままでは食べにくく、消化もよくありません。そのため、いろいろな手をくわえて、おいしく食べるくふうをしています。

要点

大豆はいろいろな食品にすがたをかえている。

大豆はいろいろな手をくわえられている。



大豆はどんな食品にすがたをかえているのでしょうか。  
大豆はどのように手をくわえられているのでしょうか。

=

工夫